

令和6年度 若栗小学校アクションプラン - 3 -		
重点項目	豊かな心の育成（徳）	
重点課題	「あいさつ」を重点とした4 A運動の推進	
現 状	・本校では、登校時の児童玄関前で、登校班同士があいさつを交わし合う「あいさつリレー」に長年取り組んでいる。登校班リーダーの合図に合わせて、元気よく丁寧にあいさつができる児童が多い。しかし、「あいさつは児童玄関でするもの」という意識が強いのか、校内に入るとあいさつの声が小さく、声をかけられてもあいさつを返さない児童もいる。本年度は、校内のあいさつのポイント（場所や時間）を具体的に示し、元気よく、気持ちのよいあいさつを校内に響かせることを目指していきたい。	
達成目標	4 A運動のあいさつについて自己評価し、「様々な場所であいさつできた」と評価した子供が80%以上になることを目指す。	
方 策	・計画委員会が中心になって、毎朝、児童玄関での「あいさつリレー」を呼びかけたり、あいさつのポイントを示したりする。 ・「4 A運動」の強調週間には、「様々な場所であいさつをする」について、自分の目標を設定する。 ・週1回の学級タイムや道徳の時間に、気持ちのよいあいさつや声かけについて考え、実践する態度を養う。	
達 成 度	・「様々な場所であいさつできた」8割以上達成者の割合 1学期 83.9% 2学期 78.3% 3学期 84.6% 年間 82.2%	
具体的な 取組状況	・朝、登校すると、児童玄関前に登校班ごとに1列に並び、次に来たグループに朝のあいさつをする。それを学校に着いた順番に次々リレーのように繋げていく本校伝統の「あいさつリレー」の実践を継続している。 ・校内のあいさつポイント（児童玄関、職員室前、階段、廊下、自分の教室等）に計画委員会や6年生のボランティアの児童があいさつを呼びかける看板を持って立ち、全校児童にあいさつを呼びかけた。 ・計画委員会の活動で、「あいさつスタンプラリー」を行い、楽しみながら校内のあいさつポイントを知らせたり、気持ちのよいあいさつの手本を示したりすることができた。その後、各ポイントであいさつをする児童が増え、帰りのあいさつを進んでする児童も増えるなど、取り組みの効果があった。	
評 価	A	・年間で80%以上を達成した。 ・あいさつポイントを知ったことで、児童玄関だけでなく、校内の様々な場所で気持ちのよいあいさつが聞こえるようになった。
次年度へ向 けての課題	・校内の様々な場所で交わされるようになったあいさつを継続できるよう、あいさつポイントを意識する掲示物、声かけ、楽しい取組を工夫していく。さらに、あいさつのように、相手も自分も気持ちよくなる言葉や行動（ぽかぽか言葉、ぽかぽかアクション）も増やすことができるよう、新しい取組を考えていきたい。	

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪化）